

福島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	技術英語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0076		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	都市システム工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	Listening Basic 文英堂						
担当教員	金 高義						
到達目標							
①4技能の総合的な英語力向上をめざす。特に、ListeningとReadingに注力する。 ②語彙の補強。 ③専門文献のリーディングの導入							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語は語学であり、4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合力が必要である。本科目は、初めて学ぶ技術英語であることから、特に英語に関する基礎的な技能を習得することに重点をおいて講義を進める。						
授業の進め方・方法	50分間の期末試験を実施する。 期末成績を50％，課題・小テスト等の成績を50％として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	授業には積極的に取り組み、課題は提出期限を厳守すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Listening Basic（1）		ガイダンス		
		2週	Listening Basic（2）				
		3週	Listening Basic（3）				
		4週	Listening Basic（4）				
		5週	Listening Basic（5）				
		6週	Listening Basic（6）				
		7週	Listening Basic（7）				
		8週	中間試験		Listeningについての中間試験		
	2ndQ	9週	Reading Basic（1）				
		10週	Reading Basic（2）				
		11週	Reading Basic（3）				
		12週	Reading Basic（4）				
		13週	Reading Basic（5）				
		14週	Reading Basic（6）				
		15週	総括		期末試験の解説		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	4		前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	4		前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4		前9,前10,前11,前12,前13,前14
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4		前9,前10,前11,前12,前13,前14
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7

				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7

評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0